

活動オリエンテーション資料

現地情報の確認、活動の留意事項、交通手段の説明、役割の調整、チーム作りなどを行う。

オリエンテーションガイドンス

1) ボランティア活動の心構え

- ◆同じような作業でも依頼者によって望まれている事が異なる事もありますので、相手の気持ちを尊重して活動していただきますようお願いいたします。
- ◆被災地であり想定外の事や二次災害が起こり得る可能性があります。危険と思われたら活動を中断する判断も必要で、自分の身体は自分で守る思いで活動していただきますようお願いいたします。

2) 活動する時の注意点

- ・現地に着くと活動終了後までボランティアセンターへ戻る事はできません（怪我・緊急時、作業が終了した時を除く）。そのため、昼食・飲料は必ず現場にご持参ください。各自のゴミは持ち帰りましょう。
- ・必ずグループ全員で行動をお願いします。単独の判断で現場を離れないでください。（持ち場を離れる時はリーダーへ連絡をお願いします。）
- ・ボランティアセンターから現場までは、バスでピストン輸送を行います。配車状況でお待ち頂く場合があります。ご了承ください。
- ・トイレの場所の確認をしてください。

・このような時は必ず災害ボランティアセンターへ連絡をお願いします。

→電話 079-662-0000

「ケガをした時」「体調が悪くなった時」「活動が危険又は手に負えないと判断される時」

「依頼された以上の活動を頼まれた時」「判断に困った時」「作業が終了したとき」

※ケガなど負った場合は速やかにリーダーに報告し、センターへ連絡をお願いします。

場合によってはその場で救急車を呼ぶ事もあります。

- ・活動時間は現場到着後～〇〇時までです。昼食休憩は12～13時を目安にお願いします。また1時間に10分程度必ず休憩をとってください。安全に活動するためにも休憩をとりましょう。
- ・現場は危険な箇所が多くあります。危険だと思う場所には絶対近づかないでください。
- ・安全には十分注意してください。建物内で裸足が危険なところは、土足で良いか確認をお願いします。
- ・危険な作業は断っていただきますようお願いいたします。
- ・一人で判断せずに、依頼者やリーダーの指示に従っていただきますようお願いいたします。

- ・活動中に天候の変化（降雨、警報発表）があった場合、ボランティアセンターからリーダーに連絡があり、活動を中止する場合があります。万一急激な天候の変化（ゲリラ豪雨等）があった場合、リーダーの判断で活動を一時中断し、安全な場所に避難してください。
- ・被災者は連日の作業で疲れています。住民の方にとって負担となる言動は避けましょう。又、「どうぞ休んでくださっていいですよ」など、ひとこと声かけをお願いします。
- ・ご自宅で泥まみれになった物も住民の方の宝物かもしれません。住民の方に確認し、取り扱ってください。
- ・謝礼は受け取らないでください。ただし、飲み物やお菓子などは頑なに断るよりは頂いたほうが依頼者の気持ちも休まりますし、会話のきっかけにもなるので、一応配慮した上でいただいてもかまいません。
- ・被災者は写真を撮られたくありません。活動報告などに必要な場合でもプライバシーに配慮し撮影はしないでください。作業現場以外の被災家屋等も撮影禁止です。
- ・活動場所で知り得た個人情報第三者に漏らさないようにお願いします。

3) 活動が終わったら

※16:00までに災害ボランティアセンターに戻ってきていただきますようお願いします!

事故を防ぐためにも時間厳守をお願いします。

- ・依頼者に作業終了の確認を必ずお願いしましょう。
- ・戻る際には、必ず、グループ全員が揃っているか、忘れ物がないかご確認ください。
- ・スコップなどの資機材は、次のボランティア活動にも使用されますので、清掃をして指定の場所へ返却していただきますようお願いします。
- ・十分に手洗い、うがいを行っていただきますようお願いします。
- ・グループメンバー全員でマッチング班へ帰着の報告と活動報告を行っていただきますようお願いします。次回のニーズ希望など報告をお願いします。